

JA全農ひろしまの事業

—全農グループ経営理念—

私たち全農グループは、
生産者と消費者を安心して結ぶ
懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。

安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。

地球の環境保全に積極的に取り組みます。

生産者と消費者を安心して結ぶ懸け橋



事業名

- | | | |
|---------|---------|--------|
| 米穀事業 | 畜産事業 | 鶏卵事業 |
| 園芸事業 | 直販事業 | 肥料農薬事業 |
| 営農支援事業 | 生活住環境事業 | 農機事業 |
| 事業改革・DX | | |

グループ会社

- | | |
|----------------|--------------|
| (株)全農広島直販 | 全農アグリウエスト(株) |
| (株)広島クミアイ燃料 | 全農広島鶏卵(株) |
| (株)全農アグリサポート広島 | |



全農広島県本部 大町事務所

J Aグループの組織と J A全農の事業

ＪＡは、組合員のニーズに応じて農業生産に必要な肥料や農薬等の資材を共同で購入したり、農畜産物を共同で販売したりする他、貯金、貸出などの信用事業や、生命、建物、自動車等の共済事業、高齢者福祉、健康管理、旅行など幅広い総合事業を展開しています。また、効率的な事業展開をはかるため、指導・経済・信用・共済などの事業ごとに、連合会・中央会等による事業組織が形づくられ「ＪＡグループ」として活動しています。

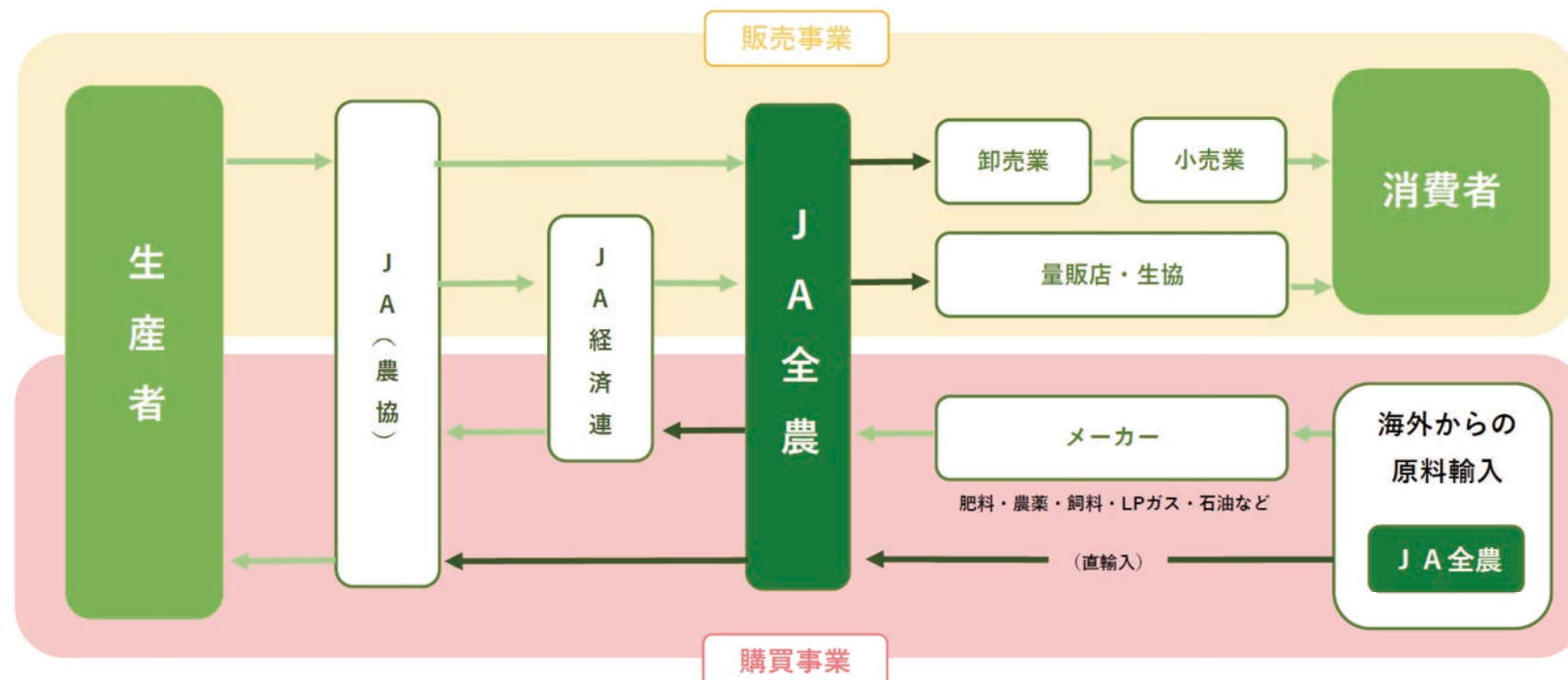


連合会のうち、
経済事業を担う
組織が「JA全農」
です。

ＪＡ全農は、「生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋」として、農畜産物の生産者の支援から地域の経済・くらしの振興まで、様々な取り組みをおこなっています。

※JA全中HPより引用

経済事業には、大きく分けて「販売事業」「購買事業」の2つの事業があります。



「販売事業」とは、農家が生産した農畜産物（米、肉、卵、野菜など）をＪＡを通じて消費者に届ける事業です。「購買事業」とは、営農や生活に必要なものをＪＡを通じて組合員に届ける事業です。取扱品目は、肥料・農薬、農業機械などの生産資材から、食料、燃料など生活用品まで、組合員の営農と生活を支援します。

▶米穀事業

生産者が丹精込めて育てた広島のお米を
適切な精米処理、品質管理を通じて消費
者の皆さまへお届けします。



◇3-R循環米「せらにしあきさかり」「おおあさこしひかり」

耕畜連携・資源循環ブランド「3-R」の精米商品として、「せらにしあきさかり」と「おおあさこしひかり」を展開しています。県内産の畜産たい肥を使用し、節減対象農薬と化学肥料（窒素成分）の使用回数を通常の2割以上削減して栽培された環境保全米です。

また、これらの商品は、農林水産省が推進する《農産物の環境負荷低減の取組の「温室効果ガス削減効果見える化」》の基準に適合することを示す表示を行っています。

持続可能な水稻生産の確立に向け、選ぶことで地域の環境保全に寄与できる「3-R」ブランドを消費者へ提案していきます。



◇FSSC22000認証の精米工場

パールライス工場（精米、無洗米、石抜き調製玄米の製造拠点）及び西部酒米搗精工場（酒造用精米の製造拠点）では、令和6年2月に国際的な食品安全マネジメントシステム「FSSC22000」の認証を取得し、この規格をベースに衛生管理プログラムを構築し実践しています。

製造工程におけるハザードの検証や検査体制を強化し、継続的な改善活動を行っていくことで、これまで以上に安全・安心な食品の提供に努めていきます。



◇ひろしま米はひろしま愛プロジェクト

ひろしま米の魅力を発信し、県内の水田を守るため、「ひろしま米はひろしま愛プロジェクト」に取り組んでいます。広島県の多様な気候風土で作られた良質な「ひろしま米」の認知度と価値の向上につなげる県民運動としていくことを目指します。

また、「ひろしま米」を消費者に直接お届けするため、JAグループ広島では「JAお米の宅配便」企画を推進しています。



▶畜産事業

生産から販売までの一体的な事業体制により、特色ある安全・安心な畜産物を消費者の皆さまにお届けします。



◇耕畜連携・資源循環ブランド「3-R」認定商品「お米ポーク」

提携産地と連携してブランド豚肉「お米(おーまい)ポーク」を生産しています。お米ポークは国産の飼料用米を使用し、脂肪が少なくあっさりとした味わいで、甘みのあるお肉となっています。

飼料に国産の飼料用米を使用することで水田の有効活用と生産基盤の維持、飼料の国内自給率向上に寄与しています。



◇農場HACCP取得

食品の安全性を消費者に示すひとつの手法として、直営農場において農場HACCP認証の取得に取り組んでいます。

令和6年4月に高宮実験牧場、9月に三次CBSが農場HACCP認証農場に指定されました。

農場HACCPに取り組むことにより、広島和牛のブランド力の向上と、選ばれる肉牛づくりを目指しています。



◇広島和牛ブランドの推進

千年の歴史と伝統を持つ広島血統に付加価値を見出し、広島県本部では「広島和牛 元就」というブランドを展開しています。さらに、プレミアムブランドである「侍BEEF元就」の海外輸出にも取り組み、全国的な広島和牛の販売拡大に努めています。



「三次家畜市場」

子牛市場の開催など、県内の家畜流通の拠点となる市場の運営を行っています。



「和牛TMRセンター」

広島県産飼料稲を活用した和牛TMRセンターでは、耕畜連携の取組みで地域循環型和牛事業の実現に努めています。



「JAのお肉屋さん」

生産者の顔が見える「ひろしま牛」など、安全・安心な精肉を消費者に販売しています。



▶鶏卵事業

「安全・安心」を基本姿勢とし、
消費者の皆さまに信頼していただ
ける卵をお届けします。



◇「耕畜連携」による資源循環型農業の推進

鶏の飼料に広島県産の飼料用米を添加し生産する
「こめたまご」の展開を積極的に推進しています。
耕種農家で生産された飼料用米を、畜産農家の飼料
として活用することで、継続的な農地活用が期待でき、
生産基盤の維持、飼料の自給率向上につながります。



◇生産から販売まで一貫したインテグレーション体制

生産から販売まで一貫した体制を整えることで、統一
された衛生管理、情報管理に取り組むことが可能となっ
ており、飼料へのこだわり、トレーサビリティシステム
(生産履歴)の構築など、機能性、安全性の高いこだわ
りの商品を取り揃えています。



パスポートシステム検索フォーム
Passport system

トレースコード

賞味期限 年 月 日

付属コード

検索する

◇FSSC22000認証工場

高品質な卵を提供するため、パック工場では国際基準
の食品安全マネジメントシステム「FSSC22000」の認
証取得を行い、徹底した品質および衛生管理のもと商品
製造を行っています。



「広島県食品自主衛生管理」認証制度



HACCPの考え方に基づく一定水準以
上の食品衛生管理を行っている施設を
認証し、食品事業者の自主的な衛生管
理の推進と県民の食生活の安全・安心
の確保を図ることを目的として広島県に
よって設立された制度です。

「安心!広島ブランド」認証制度



このマークがついている商品は生産か
ら販売までの生産履歴を追溯できる商品
です。どの農場で生まれた卵か、どんな
エサを食べたか、衛生管理は万全か…
など卵の「生い立ち」を公開し、パソコン
や携帯電話からも検索できます。

▶園芸事業

安全で新鮮な県内産の野菜を皆さまの食卓へ安定的にお届けするため、“生産者と実需者の橋渡し役”を担います。



◇耕畜連携・資源循環ブランド「3-R」（循環野菜）に関する取り組み

みどりの食料システム戦略に基づき、資源循環や環境保全につながる要件を満たして生産された青果物を、耕畜連携・資源循環ブランド「3-R」として認定しています。県内のJAと連携して取り組み生産者を拡大するとともに、量販店等を通じて消費者にお届けすることで、持続可能な農業生産を目指します。

また、「3-R」として認定した野菜をカット野菜として量販店向けに販売する取り組みも進めており、様々な販売形態によって消費者にお届けすることで、ブランドの価値や魅力を発信しています。



◇他企業とのアライアンス

広島県産野菜の消費拡大の取り組みとして、調味料メーカーなどと連携して‘旬’の野菜を使用したレシピ等を共同開発し、量販店で販促活動を行うことで、産地PRや食べ方提案を行っています。あわせて、県知事や市長を表敬訪問し、積極的にPR活動を行っています。

また、惣菜メーカーや加工業者等のベンダー企業と協力し、コンビニや量販店向けの惣菜やカット野菜を企画することで、生産者と実需者の橋渡し役として生産者の所得向上に努めます。



◇野菜の生産振興について

広島県は「日本の縮図」と言われており、北は中国山地に面した寒冷な地域、南は瀬戸内海に沿った温暖な地域が広がっているため、品目によっては広島県産でリレー出荷を行っています。また、産地育成・産地拡大を目的として、JAおよび行政と連携して「広島県園芸振興協会」を組成し、県域重点品目を中心とした品目部会活動やワーキング会議での課題や情報共有、新技術の開発導入、新技術等普及定着のための展示圃の設置、現地検討会や各種研修会の実施などの生産振興に取り組んでいます。



▶直販事業

野菜の販売を基本とした、「生産者と消費者を安心して結ぶ懸け橋」に取り組んでいます。



◇耕畜連携・資源循環ブランド「3-R」に関する取り組み

「3-R」とは、「耕畜連携」による資源循環型農業で生産された農畜産物や加工品のブランドです。とれたて元気市広島店・となりの農家店などの産直市にて、3-Rコーナーを設置し、地域の魅力を伝え、環境保全に寄与することに取り組んでいます。畜産たい肥を原料とした肥料を使用した「循環野菜」、グルテンを控えた「ひろしま米粉バウムクーヘン」や広島県産丹波大納言小豆を使用した「さんあーるもみじ」などの加工品もあり、商品ラインナップは多岐にわたります。贈答品としても幅広く推進しています。



◇JA交流ひろば とれたて元気市について

直営のJA交流ひろば とれたて元気市は広島店、となりの農家店、楽々園店の3店舗を展開しており、ともに広島県産の農畜産物を取り扱う直売所です。旬の野菜・果物をはじめ、広島県産に拘った品揃えです。毎月第1土曜日は「JA産直市の日」として店舗の内外で様々なイベントを実施しています。広島店の惣菜コーナーにはのり弁専門店の「くろべん」が出店。県内の「みのりカフェ」は元気市広島店とfukuyama店の2店舗を展開しており、季節の果物を使用したクレープなどを提供しています。となりの農家店の精肉コーナーでは広島和牛血統「元就」を販売。また、ギフトコーナーを拡充し野菜、果物、加工品などギフト向け商品の強化も行っています。



◇JAタウン（広島とれたて元気市）

JAタウン広島とれたて元気市は、産地直送通販サイトです。「おいしい日本と暮らそう。」をテーマに、品質が良く、安心安全な広島県産の農畜産物を産地からお客様にお届けし、食を通じた体験により、お客様の暮らし、生産者の皆さんの暮らしとともに豊かにすることを目指します。ぶどう、柑橘類、広島血統和牛元就や牡蠣、3-Rブランド商品を含め、広島県特産物を取扱っています。



▶ 肥料農薬事業

農産物の生産に欠かせない肥料や農薬、
生産者資材の安定供給と適正使用をす
すめ、持続可能な耕種農業を支えます。



◇持続可能な農業の実現に向けた取り組み

肥料は、海外原料への依存度が高く、価格の大幅な変動や資源争奪となるリスクが高い状況にあります。

そこで、JA全農ひろしまでは新たに、堆肥などの地域資源を活用した「混合堆肥複合肥料」の普及拡大に取り組んでいます。

また、安全・安心な農作物づくりにはバランスのよい土づくりが欠かせません。「土壌診断」にもとづく適正施肥により、肥料コストの削減や収量・品質の安定化に力を入れています。



【鶏ふん堆肥を混合した肥料】
左：園芸用「AGエコレット266」
右：水稲用「エコケッコ〜一発」

◇生産資材コスト低減

肥料製造コストの引き下げやメーカーとの価格交渉力強化のため、化成肥料の銘柄集約を行い、更なる生産資材コストの低減に取り組んでいます。

農薬においても、ジェネリック農薬の開発・普及、大型規格の導入などにより、低価格で高品質な商品の提供に努めています。



【銘柄集約品目（例）】
左：高度化成肥料「い〜ね403（改）」
右：水稲用一発肥料「早生い〜ね755」

全農が令和6年に登録取得した新規園芸殺虫剤「フィールドマストフロアブル」...コガを中心としたチョウ目害虫やキジバコなどコウチュウ目害虫に有効。



※デザインロゴは、商標登録出願中

◇省力化に繋がる取り組みについて

農業従事者の減少や高齢化が急速に進む中で、労力軽減や省力化につながる新技術の実証や普及拡大に取り組んでいます。ドローンを用いた施肥防除技術、水稲直播技術、その他課題に応じた省力技術について、現地で試験を行い、その結果に基づいた提案を行っています。



ドローン散布の
おすすめ農薬製剤（例）

▶ 営農支援事業

収量・品質の向上に向けた
生産技術の開発、普及によって
生産者をサポートします。



◇ 営農を技術面からサポート

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」のため、新しい栽培技術や作物、品種を提案しています。

また、JAと連携した低コスト栽培に関する技術の普及や生産・販売まで一貫した栽培体系の提案、JAや農業者を対象とした研修等を通じた人材育成を行っています。



◇ 環境への負荷を軽減した栽培への取り組み

耕畜連携・資源循環ブランド「3-R」の拡大に向け、広島県産の畜産たい肥を活用したアスパラガスやミニトマト、ほうれんそうなどの試験栽培に取り組んでいます。畜産たい肥の活用は「温室効果ガスの削減」にもつながることから、その効果を見える化したアスパラガスは2023年に広島で開催されたG7広島サミットの際に国際メディアセンターでも紹介されました。

また、水稲での畜産たい肥を有効に活用する方法を研究するため、2022年より広島大学と共同研究にも取り組んでいます。



◇ 新規就農者育成支援

野菜を中心とした担い手づくりのための新規就農者の育成や農場を拠点とした地域の生産振興に向けた拠点となる「全農チャレンジファーム広島」を県内3か所に開設、運営しています。2018年以降、2年間の研修を経て6名の研修生が県内で就農した他、短期での農業体験やインターンなどを通じて新たな農業者を志す方を支援しています。



▶生活住環境事業

組合員や地域の皆さまの暮らしを支えるライフラインとして、地域に密着したJAグループならではのサービスでサポートいたします。



◇クミアイプロパン

組合員や地域の皆さまへ快適な暮らしをお届けするため、環境にやさしいエネルギーであるプロパンガスを提供しています。

プロパンガスは（県内のJAグループを通し）「クミイプロパン」の愛称で皆さまにお届けしています。ご家庭での調理はもちろん、お風呂などの給湯や暖房にもご利用いただいております。

また、災害発生時には復旧が早く、避難所でも利用されるなど、災害にとっても強いエネルギーとして組合員の皆さまの暮らしを支えています。



◇営農用エネルギーの取り組み

施設栽培の生産者の皆さまへ、安全で安心してご利用いただける営農ガス機器の導入をご提案しております。営農用ガス機器は、環境性・メンテナンス性・低燃費性に優れ、農産物の品質や収穫量の向上と生産コスト低減につながり、多くの生産者の皆さまにご採用いただいております。

施設内は、二酸化炭素欠乏により光合成が阻害され生育不良になることがあり、それを補うためLPガスを燃焼させて炭酸ガスを施設内に発生させる機械が光合成促進機です。

全農ひろしまでは、トマトやイチゴ、キュウリなどで導入支援を行っており、広島営農技術センターでは有効的な活用方法の試験を行っております。



◇住環境事業・住宅リフォーム事業

J Aグループの総合力を活かし、知識・経験の豊富なスタッフが住まいづくりのお手伝いをいたします。屋根瓦の補修から戸建て一棟まるごとリフォームまで、お客様のご要望に幅広くお応えいたします。

シロアリ防除、水まわり、屋根・外壁、内装、エクステリア、バリアフリー対応など住まいのリフォームも承っています。



◇J Aでんき

「J Aでんき」とは、組合員の生活や農業生産にかかるエネルギーコストの削減を目的として、J Aグループが取り扱う電気メニューです。中国電力の送電線を利用して供給するため、供給安定性は従来と変わらず、組合員や地域の皆さまへ電気を提供しています。

◇石油事業

石油製品は、交通・運搬手段である自動車やストーブなどの暖房器具だけではなく、トラクターやコンバインといった農業機械、農業用ハウスの加温機などに用いられています。

全農は、国内外の石油元売から仕入れ、石油元売が所有する製油所や全農グループが所有する全国の石油基地からJ Aの給油所（J A - S S）などへ供給しています。



◇くらし事業

安全・安心な原料・製造方法にこだわった「エコープマーク品」「全農ブランド商品」や、地産・県産・国産にこだわった食料品やくらしの商品をご自宅までお届けする「J Aくらしの宅配便」による生活支援、J A女性部と連携した地域生産振興に繋がる商品開発等の農業生産・地域社会づくりの支援を進めています。

事業を通じて、便利で豊かな生活と地域の活性化に貢献できるよう取り組んでいます。

▶ 農機事業

農業生産に必要不可欠な農機の安定供給と
ご購入後のアフターケア支援で営農を支え
ます。



◇ 農機事業の概要

J A全農ひろしまは県内のJ Aの農機センター及び(株)全農アグリサポート広島の効率的な事業体制やシステムの統一化などを図り、農業組合員の皆さまへ充実したサービスを行い、営農活動をきめ細かくサポートしています。

また、機械の故障やトラブルに対して、迅速に対応を行うために、修理に必要な部品の物流拠点を三次市に設置しており、J A農機センターからの問い合わせや受発注と配送業務を行っています。



◇ 共同購入農業機械の取り組み

全国各地の農家組合員に対して必要な農機のスペックや機能、価格等についてアンケートを行い、国内農機メーカー4社（三菱マヒンドラ農機(株)、(株)クボタ、井関農機(株)、ヤンマーアグリジャパン(株)）に対して開発要求などを行っています。そして、開発要求のもと作られた開発機をJ A全青協などの農業者団体の代表者と共に協議のもと、機体を決めます。決めた機体を一括で発注することにより、購入価格の引き下げを実現し、同じクラスの農業機械と比較して、15～18%以上の引き下げを実現しました。こうした取り組みを通じて、引き続き農家、組合員の営農を支援していきます。

◇ 中古農機マッチングシステムRe:Boon(リブーン)

中古農機マッチングシステム（通称：「Re:Boon(リブーン)」）は、インターネット環境で、中古農機を販売したい農業者や事業者（J A含む）と購入したい農業者をマッチングするシステムです。

開発に至った背景としては、近年の農業機械の高騰が続き、中古農機の需要は高まっているものの、中古農機として販売するにあたっての手続きが煩雑で時間がかかり、中古農機が品薄である現状がありました。それらを解消するため、また中古農機の流通促進を図ることを目的に、中古農機マッチングシステムRe:Boon（リブーン）を開発し、運用を始めました。

中古農機を探している
そろそろ買い替えたい
そんなときは!! JA農機センターへ
中古農機マッチングシステム
Re:Boon
リブーン
広島県内のJ Aと全農ひろしまが運営する中古農機マッチングシステム「Re:Boon」は、JA組合員ならびにJAが、中古農機の「委託販売」「購入」を行うことができるシステムです。
取り扱い中古農機
トラクタ/ティラー・管理機/耕うん機/田植機/動噴/洗浄機/コンバイン/バインダー/乾燥機/選別計量器/精米機/カッター/剥穀機/野菜移植機/草刈機/播種機/動力運搬車/除雪機/作業機械 など

▶事業改革・DX

J AグループのI T/D X化の推進を図り、新たなシステムの構築・導入など、生産から販売までの情報を一元管理することで、事業の効率化を目指しています。

◇青果流通一貫システム（グリレボ）

園芸事業全般の出荷、販売、精算にかかる事務効率向上と生産振興寄与することを目的に開発しました。現在運用が進められており、利便性向上のバージョンアップを行う予定となっています。



◇産直市 マッチングシステムTOREJA(トレジャ)

広島県内のJ A産直市間の物流・交流を促進するため、野菜や果物などを出荷する出荷者（生産者）とそれらを購入したいJ A産直市や県内の飲食店などを結ぶ、マッチングシステムです。



◇広島県の酒システム

「酒蔵の個性」を生かしながら「広島県の酒を売る」をコンセプトに、商品情報をシステム（クラウド上）に蓄積し、自身の好みや利用シーンなどに合う酒の情報を調べることができます。

また、登録店舗はどこからでも認証書や販促資材が発行できるシステムを広島県酒造組合と共同で開発しました。



◇J A-e C A T

生産者が、肥料・農薬をスマートフォンなどのモバイル端末からインターネットで購入できるE Cサイトを開発しています。将来的に、肥料農薬の予約や生活関連商品も掲載することで、生産者の利便性向上・J Aの事務負担軽減を図ります。あわせて肥料・農薬の戸配送体制について、J A-e C A Tと連動した輸配送システムを活用し、物流2024問題に対応した持続可能な物流体制を構築していきます。

